

## 下関の「デコス」が優秀賞

### カーボン・オフセット大賞

建築用断熱材を製造する「デコス」(本社・下関市熊野西町、安成信次社長)は6日、「近くの山の木でつくる、省CO<sub>2</sub>で心地よい木の家プロジェクト」で、第2回カーボン・オフセット大賞(カーボン・オフセット推進ネットワーク主催、環境省など後援)の優秀賞を受賞した。

同プロジェクトは、親会

社の安成工務店など4社協働で進める木の家づくりにおいて、経産省などが推進する「カーボンフットプリントを活用したカーボン・オフセット製品」試行事業に基づき、上棟する物件に使用する建築用断熱材「デコスファイバー」の原材料

調達から廃棄・リサイクルまでの過程で温室効果ガスの排出量を削減する取り組み。主原料に新聞紙を使い、生産工場の動力エネルギーは電力を利用。輸送手段はJR貨物を積極的に活用し、二酸化炭素排出量を削減している。

カーボン・オフセット大賞では、低炭素社会の実現に向けて優れた取り組みを行う団体を表彰。今回は全国から55件の応募があり、環境大臣賞1団体、経産大臣賞1団体、優秀賞3団体、奨励賞5団体、特別賞1団体が選出された。